

平成22年9月7日(火)

産経

夕刊

枚方市議会にみんなの党会派

大阪府枚方市議会（定数34人）の会派「改革市民会議」（3人）所属の市議全員がみんなの党に入党し、新会派「みんなの党市民会議」を設立する意向を固めたことが7日、分かった。同党の単独会派は神戸市議会などにもあるが、議会運営委員会への参加や代表質問などができる交渉会派の要件は満たしておらず、枚方市議会では新会派が設立されれば西日本の地方議会では初の交渉会派となる。来春の統一地方選に向け、みんなの党の渡辺喜美代表は「大阪でも公認候補を擁立したい」と独自候補の擁立を示唆している。

来春統一選にらみ

3市議 週内にも結成

新会派を設立するのは、伏見隆、高橋伸介、池上典子の3市議。
7日午後の党役員会で正式許可を受けた後、週内にも市議会議長に会派結成届を提出し、現会派を解散する。3市議は統一地方選に向けて地方組織を固めるため、支部の設立も目指すという。

市議らによると、地方議会で、同党や同党系の単独会派は栃木県議会や逗子市議会（神奈川県）、神戸市議会、徳島県議会などで設立。

分で、行革を正面から取り組む党の活動に加わることで、突破口を開きたい」としている。
8月末に来阪した渡辺代表は「30選挙区であれば、10人以上の候補を考えている。大阪でもぜひ、公認候補を擁立したい」と統一地方選で大阪が重点区であることを強調していた。
一方、地域政党「大阪維新の会」の代表を務める大阪府の橋下徹知事は「渡辺代表の考えは一から百まで賛成」などと発言。統一地方選でみんなの党と相互連携することに前向きな姿勢を示し、水面下で調整を進めている。